生活習慣について

スキンケア

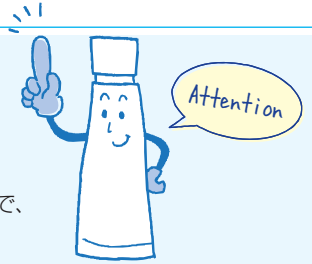
乾燥は皮膚にとって大敵です。脱脂力の強い製品の使用をさけ、保湿剤でのスキンケアを心がけましょう。

ストレス管理

ストレスは皮脂の分泌を高めます。ニキビの悪化や再発を防ぐために、ストレスをためないようにしましょう。

お薬の保管についてのご注意

- 室温で保存してください。(凍結させないでください。)
- 子どもの手の届かないところに保管してください。
- 医師は、患者さまの状態に合わせて、お薬を処方していますので、他の人にあげたり、使用させたりしないでください。



ニキビの治療.comもご覧ください
https://www.maruho.co.jp/kanja/nikibi/

QRコードからのアクセスはこちら

病院・医院名

提供 maruho マルホ株式会社

5041601

2016年7月作成
A0716DY-IS

患者さま用ガイド

ディフェリン®ゲル0.1%

を使用される方へ

監修:虎の門病院 皮膚科 部長　林 伸和先生

ご使用の際にお読みください

お使いになる前に

次のような方は、このお薬を使用しないでください。

- このお薬によりアレルギーをおこしたことがある方
- 妊娠している方、妊娠している可能性のある方
（このお薬での治療中に妊娠を希望する方も、使用をお控えください。）

妊娠中の方へ

このお薬を使用中に妊娠した場合、または妊娠かなと思われた場合は、使用をすぐにやめて、医師に相談してください。

ニキビ治療に使う量よりたくさんの量を妊娠中の実験動物にのませた場合、骨や臓器に異常がある子どもが認められたため、妊娠している方、妊娠している可能性のある方は使用しないでください。

授乳中の方へ

授乳されている方は、使用しないでください。
やむを得ずこのお薬を使用される場合は、
授乳はしないでください。

参考

同じ系統のお薬（内服薬）を、オスの実験動物にたくさんのませた場合、精巣に影響があったという報告があります。ただし、このお薬では精巣に対する影響は認められていません。

治療中に守っていただきたいこと

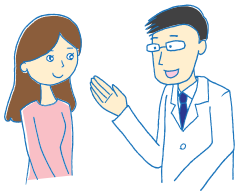
お薬の使い方を守ってください。

- 1日1回、おやすみになる前に洗顔後、顔だけに使用してください。
ニキビの治療以外にはお使いにならないでください。
- このお薬をなめたり、のんだりしないでください。

皮膚刺激感がおこることが多いので次のことを守ってください。

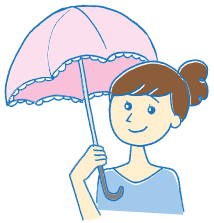
皮膚に切り傷、すり傷、湿疹があるところ、
眼の周囲･唇･小鼻（粘膜に近いところ）は
塗布をさけてください。
（眼に入った場合はすぐに水で洗い流してください）

皮膚に刺激のある
石けんや化粧品などの
使用はさけてください。



顔に他の塗り薬を
使用する場合は、
医師に相談して
ください。

海や山で大量の
日光をあびることや、
日焼けランプでの
過度の紫外線照射は
さけてください。



外出時には、
日傘、帽子や
日焼け止めの使用を
おすすめします。

塗りはじめにあらわれる副作用

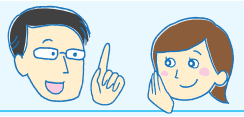
このお薬の使いはじめに、
塗ったお肌に次の症状があらわれることがあります。

お肌にあらわれる症状

- 乾燥
- 皮膚不快感（ヒリヒリ感など）
- 落屑（らくせつ）（皮膚が細かくはがれる）
- 紅斑（こうはん）（赤くなる）
- そう痒（よう）感（かゆみ）

- 症状は通常は軽度で、ほとんどが使いはじめから2週間以内にあらわれ、その後やわらいできます。
- ただし、治療中に症状がなかなかよくならない場合は、医師・薬剤師に相談してください。

使用に際して疑問や気になる症状がある場合は、医師・薬剤師に相談しましょう。

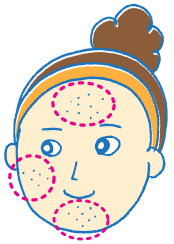


ディフェリン®ゲルの使い方

1

洗顔料を手にとり、よく泡立て、泡で顔全体を包み込むようにやさしく洗ってください。洗顔料を残さないように十分洗い流します。柔らかいタオルでこすらずに、軽く押さえるように水分を拭き取ってください。

2



ディフェリン®ゲルをニキビとその周囲（左図参照）に、適量を塗布してください。

3

塗り終わったら、手を洗ってください。

- 前日に塗り忘れた場合でも、用法・用量どおり就寝前に使用してください。1日に2回塗ったり、1回に2回分を塗ったりしないでください。

乾燥などを防ぐために化粧品などをお使いになる場合には、化粧水、乳液などを使用して肌になじませた後、ディフェリン®ゲルを塗ってください。

1

化粧水、乳液など

2

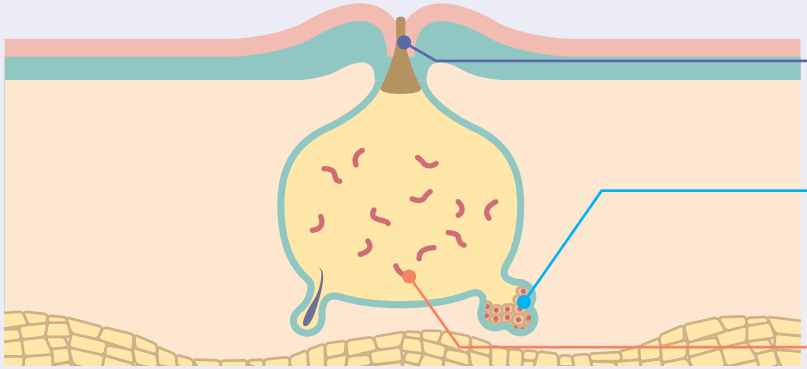
ディフェリン®ゲル

低刺激性保湿化粧品（ノンコメドジェニックの表示のあるもの）をおすすめします。

ノンコメドジェニック：
にきびができにくいことを確認している化粧品

ニキビの原因・症状とディフェリン®ゲルの 作用

ニキビの原因



- 毛穴のつまり ← ディフェリン®ゲルの作用：毛穴のつまりを取り除きます
- 皮脂分泌の増加
- ニキビ菌が増殖して炎症がおきます ← 抗菌薬の作用：菌を減少させ、炎症をしずめます

ニキビの変化

尋常性ざ瘡（じんじょうせいざそう）

第1段階

ニキビは、目に見えない極めて小さい毛穴のつまり（微小面ぽう）からはじまり、目に見える白や黒色のニキビ（面ぽう）が形成されます。

ニキビの前段階（微小面ぽう）

炎症のないニキビ（面ぽう）

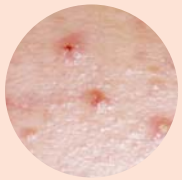
ディフェリン®ゲルの作用

微小面ぽうやニキビの初期である面ぽうに作用し、ニキビの進行を防ぎます。*面ぽうはコメドとも呼びます

第2段階

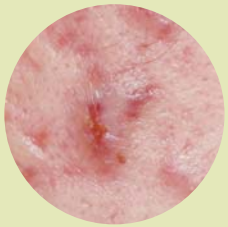
増殖したニキビ菌やたまった皮脂により炎症がおこり、赤いニキビができます。

炎症をおこしたニキビ



ディフェリン®ゲルの作用

初期のうちに治療することで、赤いニキビを減らし、炎症の強いニキビへの進行を防ぐことができます。

瘢痕

炎症が周囲の組織に広がると、皮膚に瘢痕が残ることがあります。